

Toyo Channel

● 高大連携プログラム

8月17日(月)～18日(火)

東洋大学各キャンパスにて

Summer Academia

目的: ①大学で学ぶことの魅力を体感する。②各附属校の生徒と学びを通して交流する。

東洋大学には、白山キャンパス7学部、赤羽台キャンパス3学部、川越キャンパス2学部、朝霞キャンパス2学部と、合わせて14学部があり、それぞれの学部内にある学科で様々な体験講座が開かれました。

● 白山キャンパス

文・法・経営・経済・社会・国際・国際観光学部

東洋思想文化学科では、英雄叙事詩『マハーバーラタ』に登場するカルナの物語を題材に、その部分の物語を自分自身で書き換える講義が行われた。
日本文学文化学科では、『山月記』を多角的な視点で読んでいく方法を学びました。
英米文学科では、「英語の所有権」についての講義で世界共通語の英語の役割や「日本人英語」の課題について考えました。

(文学部)



▲文学部での授業

今回の国際観光学部のテーマは「観光地としてのテーマパーク体験と消費の仕組みを探る」でした。日本人と外国人の来園者の比較をしてみるところから始め、存続させるために必要な行動や、売り上げの意識がどれだけ大切かを準備段階で講義を受けました。そして体験行動に注目し、「ゲストが満足して自然とお金を使いたくなる仕組み」の考案、発表を2日目の最終的なゴールとしました。

(国際観光学部)



▲国際観光学部での授業

● 川越キャンパス

理工・環境イノベーション学部

機械工学科では「翼の空力最適設計」というテーマでプログラムを実施しました。事前課題において、飛行機が飛ぶ原理である「揚力」と「抗力」について調べ、どのような設計であれば効率的かつ安全に飛行機が飛ぶのかを、パソコンを使ってシミュレーションを行いました。その後、生徒同士で設計についてのディスカッションを行いました。生徒達は、高校とは違う一回り難しい抗議の内容に戸惑う様子もありましたが、最後まで粘り強く取り組んでいました。
電気電子情報工学科では「炭素ナノシートの作製と観察」というテーマでプログラムを行いました。3～4名のグループに分かれ、実験棟のなかを東洋大生に案内してもらいました。高校では見られない様々な設備や機械に圧倒され、生徒達は驚きを隠せない様子でした。

(理工学部)



▲理工学部での授業



● 赤羽台キャンパス

情報連携・福祉社会デザイン・健康スポーツ科学部

▼福祉社会デザインでの授業



福祉社会デザイン学部では、福祉・デザイン・建築の領域から「人と社会を繋ぐ創造力」についての講義を受けました。
1日目の講義では、五感を刺激して心身をリラックスさせる「スヌーズレン」の理念が紹介され、福祉施設や教育現場での活用および対象者に寄り添う「共感」の重要性を深く理解しました。
2日目の講義では、プロダクトデザインにおける意思伝達のスケッチ技法や、AI化が進む現代での人間独自の感情や経験に基づく共感が不可欠であることを学びました。続く講義では、建築が5つの専門領域で構成されることや、多様な人々に配慮した公共的な役割を学びました。本プログラムを通じて、人間理解や社会的課題に対する多角的なアプローチを深く把握する機会となりました。

(福祉社会デザイン学部)

健康スポーツ科学部での授業▲

「タンパク質と筋肉の関わり～飲食品に含まれるたんぱく質を調べてみよう～」をテーマに講義を受けました。身近な飲食品にどの程度のタンパク質が含まれているのかについて、商品のパッケージに表示されている栄養成分表示などを参考に調査しました。各グループに分かれて、普段から口にする食品や飲料を取り上げ、タンパク質の含有量を比較しながら特徴を整理しました。また、調べた内容をグループ内で共有し、協力して発表資料をまとめました。発表を通してたんぱく質が筋肉の成長や身体づくりに重要な栄養素であることについて理解を深めることができました。

(健康スポーツ科学部)

● 朝霞キャンパス

生命科学・食環境科学

食環境科学部は食環境科学科、フードデータサイエンス学科、健康栄養学科のプログラムに参加しました。
食環境科学科では、日本酒造りに欠かせない酵母と麹についての実験を行いました。興味がある研究を選択して行い、結果だけでなく考察を深く行うことが大切だと学びました。
フードデータサイエンス学科では、食を通して経済学を学びました。企業ごとにチョコレートの味が違うことから、各企業の戦略を考察しました。また、ゲームなどを通して姫路、京北の生徒とも深く交流をしていました。
健康栄養学科では、身近にある茶に含まれている抗酸化作用について研究を行いました。緑茶であっても製造方法や栽培方法、よって茶に含まれている成分に変化があることを学びました。

(生命科学部)



▼食環境科学部での授業▲

